

終わり無き戦い「守れ能登空港」

平成15年7月7日開港した能登空港、これまでの7年間、皆様方からの熱い応援のおかげでなんとか目標搭乗率の62%を達成できました。ご支援ありがとうございました。

我々の能登空港が「地方空港の優等生」と世間から高い評価を頂いているのは、能登の財産、宝物は自分達が守るといふ皆様方の熱い心の結晶にほかなりません。

能登鉄道の廃線で陸の孤島といわれる能登と東京を1時間でつなぐ能登空港は無くすわけにはいかない。自分達が率先して利用し、誘客に全力を尽くす以外に空港を守る術はないという能登地区関係者全ての決意の賜物であると認識しています。

特に奥能登は過疎化の歯止めがからず、人口は50年前の半分になっています。しかし逆に奥能登を応援してくださる方々が首都圏の皆様を始めとして全国にいらっしゃいます。

全国の地方空港の中でも、地域の方々が搭乗率達成に一喜一憂されるのは唯一能登空港のみです。単に自治体とANAとの関係だけではなく、地域の方々の目標という意味でもこの制度の創設は大きな成果があったと考えています。

ANAも「利用予測が嬉しいほうにはずれたのは初めてだ」とコメントしています。

去年6月に首都圏のテレビ取材のインタビュに答えた東京のお客様の「搭乗率が危ないということ、応援の意味で能登へきました」との言葉に記者も驚愕していました。

能登の出身者である私は県の担当課長として能登空港の活性化に全力投球しています。

昨年暮れの「冬こそ能登へ」キャンペーンでは、力二帽子と法被姿でキャンペーンガールとともに東京の地下鉄に乗りしました。

「先週、飛行機で能登旅行に行ってきた」という若い女性。「輪島の漆器会社社長と懇意にしており、来月また必ず行くよ」というおじいさん。多くの温かい励ましをいただきました。会社の写真倶楽部員20人も能登旅行積立を開始したと

の嬉しい話もありました。

「能登空港応援隊」を結成することになりました。今回新たに、首都圏にお住いの方を核として、

「能登空港応援隊」を結成することになりました。いしかわ観光特使や県人会、飲食店関係の方々から約1000人を目標に隊員を募集中です。職場や町会でのPR、各種イベントでのキャンペーンなどをお願いすることとしており、能登ゆかりの隊員のネットワークを構築し、情報交換会などを通じて利用促進に繋がりたいと考えています。

〈激震〉

8年目の追い込みの戦いにいざ挑もうとしていた矢先の東日本大震災の発生でした。まさに能登空港にとっての激震でした。

翌日から能登空港にもキャンセルの嵐が吹き続いています。3月分だけで、なんと4千席の減少。4月以降も過去にない最悪の数字が並んでいます。しかし、東北の被災された方々に比べれば、我々にはまだまだ戦える土俵は残っています。

東北地方が復興に向けて歩める時がくれば、私達の宝物「能登空港」を守る戦いが再び始まりま

す。是非その際は、皆様の能登を思う熱いエールを送って頂きたいとお願いいたします。

石川県企画振興部空港企画課長表 正人（宝立町出身）



東北地方太平洋沖地震被災者の皆様には心から御見舞い申し上げます。

アイデンティティ ⑩

岬の須須神社と悲劇の英雄義経主従

能登半島の先端にひととき高く盛り上がる山伏山山頂に須須神社奥宮がある。ここには、出雲の大国主命と越の国（高志・古代北陸地方）の奴奈宣波比売命の間に生まれたとされる伝説上の神穂穂須須美命が祀られている。このミホスミの神は島根県美保町の美保神社の祭神である。まさに日本海路を守護する象徴といえる神なのである。

京を追われて奥州へ落ち延びる源義経一行は、歌舞伎十八番「勸進帳」でおなじみの安宅の関所を抜けた後、陸路を進んだが、海路を選んだか、忍びの者として定かではなく、能登半島を経由したとする伝説がある。能登金剛の関野鼻付近で風を避けて難を逃れた（義経の舟隠し）や義経主従にちなむ奇岩・奇石は枚挙にいとまがない。そして、半島突端の沖合で暴風雨に遭遇し、三崎権現（須須神社）に（我等の難洪を救い給え」と祈願し、嵐がおさまった海難のお礼に義経愛用の「蟬折の笛」と弁慶の「守刀」を奉納したのであった。幼き日両親と特別の計らいで当時秘宝を拝見したことがよみ返る。

去る年参拝した。延喜式に列せられた創建2000年になる古社の前に立つと、海を望む鳥居が深く印象に残る。日本海一帯の守護神として第10代崇神天皇の頃から大陸との海の玄関口として、また国内の貿易の繁栄を見守ってきた由緒ある格式を感じる。参道は緑陰を落とししつとりと苔で敷き詰められ、石段を重ねている。周りに樹齢500年は超えるスダジイ、タブ、ヤブツバキなどの老木・巨木が林立し鬱蒼とした原生林の荘厳な風情ある空気を漂わせる。

広く信仰を集め由來ある古社の宝物殿には、平安時代以来の数々の古文書、国指定重要文化財となっている鎌倉時代の五柱木造男神像、そして、義経ゆかりの品々が語りかけようとしている。

（押上武文〈府中市・宝立町出身〉）

東京ドームふるさと祭り東京

飯田燈籠山祭り・能登キリコ祭りが登場！能登井も！

1月8日から16日まで東京後楽園ドームで開催された「ふるさと祭り東京〜日本のまつり・故郷の味」に飯田燈籠山、山が登場し勇壮な能登の祭りが観客を魅了しました。スタがキリコ祭りと共に出場しました。8日のオープニングには、山岸副知事、泉谷珠洲市長、今井珠洲商工会議所会頭らが来賓として参加し、展示された燈籠山の雄姿に満足げでした。8、9、10日の3日間、繰り広げられた合計6回のステージで、馬縹のキリコ太鼓を皮切りにキリコ、燈籠の観衆から大きな拍手が送られ、能登の祭りのメジャーデビューは大成功でした。「井大会」では、レストラン浜中の香箱力二井は全国の食材とグルメ度を競い合い健闘しました。応援有難うございました。



「すすろものがたり」18号(昭和30年正月月上旬発行から)

能登井を思い出して見ませんが、
声を出して詠んでみましょう！

民俗資料「トンと音あつたとい」

—さるとがん—

坂下喜久次

さるとがんと仲間田したとい。「今日はたんぼ打に行かんかい」てて、がんちようは鉄にチヨコンチヨコンと打し、猿は「おお腹いたい」てて畦の上にあがって寝とったとい。今日「畦ぬらんかい」てて、がんちようは鉄にチヨコンチヨコンと畦ぬるし、猿や「おお腹いたい」てて畦の上にあがって寝とったとい。「今日草取らんか」てて言っても、猿は畦の上に寝とったとい。稲刈りも何もさるはせんと寝とったとい。

ある日猿は「がんどんがんどん米も出来たし餅ついて食べまいかい」「おつとよし」「つく時や山のせなに上ってつくまいかい」「おつとよし」ててがんちよは、うんずうんずうて白かんで上ったとい。

山のせなに

猿はスッタコ
ラスッタコラ
餅をつくし、
がんちようは
手がやしをし
たとい。

「がんどんが
んどん」「今で

や餅やつけたし、下へおりて食べまいかい」ててさるは臼の中へ餅を入れて、臼の上のって「コロコロ」とおりたとい。餅や木の株にしかかったとい。そしたらがんちよや、もづあもづあとおりて行って鉄にポッチンポッチンとはさんで食べとったとい。猿は下に居って、「餅がだりますだります」てて言ったとい。がんちよは「だっても、さがつても、かもなやかもなや」て、食べとったとい。とんと音やすんだとい。



(次号に続く)

東京石川県人会総会・新年会開催される



1月23日千代田区のグランドプリンスホテル赤坂で東京石川県人会総会・新年会が開催され、約170人が参加した。

総会では、23年の事業計画として、9月25日山代温泉での石川県人会全国大会開催、首都圏いしかわふるさと連絡会の定期開催、特典付き会員カードの発行などが提案された。

新年会は、古澤史水さんの薩摩琵琶「敦盛」で開幕、塩安真衣子さんのサクソホン演奏などを観賞し、地酒と石川の食材を楽しんだ。珠洲勢は、来賓として参加した泉合満寿裕珠洲市長を囲んでふるさと談義に花を咲かせた。



**石川県人会
会員募集中!
03-3556-1414**

◎ふるさと行事◎

4/13~19

そごう千葉店

5/5

東京国際ホーラム

オーケストラアンサンブル金沢

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン (熱狂の日) 音楽祭

6/1~7

東京駅八重洲口 大丸東京店地下

宗玄酒販売会

8/20 (土)

17時~19時 總時寺境内

奉祝大本山總時寺御移転百年

門前夏季例大祭 (ごっつい祭り)

お問い合わせ先

門前町実行委員会 0768-42-0701

許せない 能登を舞台とした拉致事件

2010年(平成22年)11月27日 (土曜日)

北 國 新 聞

「宇出津事件 風化させぬ」

警察庁長官が拉致現場視察

警察庁の安藤隆春長官は26日、石川県を訪れ、1977(昭和52)年の「宇出津事件」の舞台となった能登町宇出津の海岸を視察した。

安藤長官は「拉致行為は許されざる重大な犯罪で、決して風化させはならない」と強く感じた」と述べ、拉致被害の全容解明に全力を尽くす考えを示した。

安藤長官は澤田秀樹県警備部長らとともに、久米裕さんがゴムボートに乗せられて拉致されたときとされる入り江を訪れた。奥野登志夫県警備部首席参事

志賀原発のテロ制圧訓練も激励

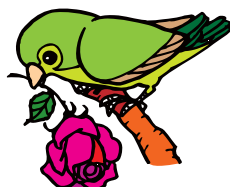
安藤長官は同日午前、志賀町の北陸電力志賀原発を訪れ、24時間態勢で警戒に当たる県警などの警戒部隊を

激励。全国で初めて公開された原発を狙った武装テロの制圧訓練を視察した。警察庁長官が県内を視察に訪れたのは2002(平成14)年以来となった。



久米さんが拉致されたとされる入り江を視察する安藤長官(左から2人目) 一能登町宇出津

宇出津事件 1977(昭和52)年9月19日夜、東京都三鷹市の警備員久米裕さんが、密貿易の話があるとの在日朝鮮人の男性から「密貿易の話がある」と能登町宇出津の海岸へ誘い出され、北朝鮮工作員に引き渡された。石川県警は外国人登録法違反容疑で男性を逮捕し、家宅捜索で乱数表などを押収したが、男性は起訴猶予処分となった。県警と警視庁は2003年1月、拉致を指揮したとして国外移送目的誘拐容疑で北朝鮮の工作員金世福(キム・セボ)容疑者を国際手配、外務省を通じて北朝鮮側に身柄の引き渡しを要求している。



7/16(土)~18(月・祭) 横浜市鶴見区

總持寺み霊まつり

能登キリコ祭り再び登場

(詳細は7月号でご案内します)



歌謡曲の話題二題

—ふるさとのご当地歌謡競演—

◎新保博司さん作詞

「逢いたい珠洲」

ふるさとを元気に！の想いで

珠洲の情景を歌詞にしています

〜珠洲の地元では歌謡舞踊で

盛り上がっています〜

【お問い合わせ先】

〒927-1205 珠洲市正院町川尻2-8-1

新保博司 TEL 07688-82120888

◎キングレコード歌手

佐々木ホコさん「能登の岬で」



曾々木在住の藤平朝雄さん作詞の曲で、千年橋、恋路キリコ祭り、禄剛崎など珠洲の情景が唱われています

〜東京珠洲会やキリコ祭りには

いつも駆け付けて頂いています〜

「歌手ササキホ」歌ネット」で検索してみてください
Amazonから新曲が45秒聞くことができます

【お問い合わせ先】

〒133-0056 江戸川区南小岩7-26-21-411

TEL 060-3174-114300



作詞：新保 博司
作曲：馬上 雅宏
編曲：川端マモル
歌：沢 やす子

日本音楽アカデミー
後援：珠洲商工会議所

ひとり旅する 奥能登路
忘れきれずに 見附の影に
あなた徳んで 濡すほほ
遠く離れて みたけれど
白い辛夷の 未練ばな
波も泣きます 切なさに
薫けむりの 珠洲焼は
おんな心を 愛しく染めて
生きる私の 華になる
潮の匂いの 彼岸ばな
こころ静かに 咲かせてね
珠洲はやさしい 土までも
流れ清らな 紀の川に
うつす面影 心のように
慕う女の 浪花よ
香りのこして 紅ひとつ
笛の弾折 胸にしみ
未練のこして うしろ髪

◎椿れいさん「能登の一夜星」

七尾市で地域振興を目指す上木玲子さん能登の祭りに伝わる逢瀬伝説にちなんだロマン歌謡を歌う

〜この3月に58歳遅咲き歌手デビュー〜

ホームページをご覧ください

【お問い合わせ先】

〒926-0855 七尾市小丸山台3-21



「東京奥能登応援団のホームページ」アドレスは <http://okunoto.net> です。

珠洲市の観光大使4人に

珠洲市は2月に首都圏や都市部で珠洲をPRする新しい大使を依頼しました。

銭湯背景画絵師 中島盛夫氏 (65)
東京珠洲会会長 笠原英二氏 (73)
と、当応援団の光眞 (63)です。珠洲市観光大使は、宝塚歌劇団の珠洲春希さんを含め4人となりました。

事務局から

○珠洲からの動員のないキリコについては動かせるだけの担ぎ手が集まるか心配していましたが、毎回50人以上の担ぎ手が参加し、杞憂のことでした。大勢参加の「てっ隊」の大きな力に応援団は面目躍如でありました。ご参加有難うございました。

○当応援団の事務局を発会以来(株)宮商さんに置かせていただきましたが、この程石川県人会事務局の中に移設しました。(株)宮商さん有難うございました。改めて御礼申し上げます。

未曾有の大震災、甚大な被害に心からお見舞い申し上げます。能登地震のご支援に「お返し」をせにやならんと思えます。

(事務局 光眞)